

令和5年度 JST情報サービス利用者の満足度調査 (J-STAGE 閲覧者 (日本語))



©2024 国立研究開発法人科学技術振興機構 この文書はクリエイティブ・コモンズ [表示 4.0 国際]ライセンスの下に提供されています。

<https://creativecommons.org/licenses/by/4.0/deed.ja>



国立研究開発法人
科学技術振興機構
Japan Science and Technology Agency

■ 目次

■ 目次	1
■ 調査概要	2
■ 回答者プロフィール	3
【調査結果 詳細】	
■ J-STAGE 利用頻度	8
■ My J-STAGE 登録状況	9
■ My J-STAGE よく使う機能、便利だと思う機能	10
■ J-STAGE 役立ち度	11
■ J-STAGE 役に立っている（立ちそうな）理由	12
■ J-STAGE 役に立っていない（立ちそうにない）理由	13
■ 直近1年間にアップデートを行ったJ-STAGEの機能や表示のうち、知っていたもの	14
■ J-STAGE以外で普段、論文の検索・閲覧時に利用しているサービス	15
■ J-STAGEに備わっていたら役に立ちそうな機能	16
■ J-STAGE Dataを知っているか	17
■ J-STAGE Dataをどのように利用できるか/使いたいのか	18
■ J-STAGE 論文を出版する際に論文根拠データの公開を求められたことはあるか	19
■ 研究データをJ-STAGE Dataほか、オープンアクセスで公開したいと思うか	20

■ 調査概要

調査目的

国立研究開発法人科学技術振興機構が提供する主要な情報サービスについて、各サービスの利用状況、認知度、利用シーンや類似サービスとの比較・選択状況を明らかにするための調査を実施し、結果を事業企画に活用する。

調査対象

J-STAGEサイトトップページ訪問者
My J-STAGEアカウントのDM受取者

サンプル数

8,444件

調査手法

インターネット調査

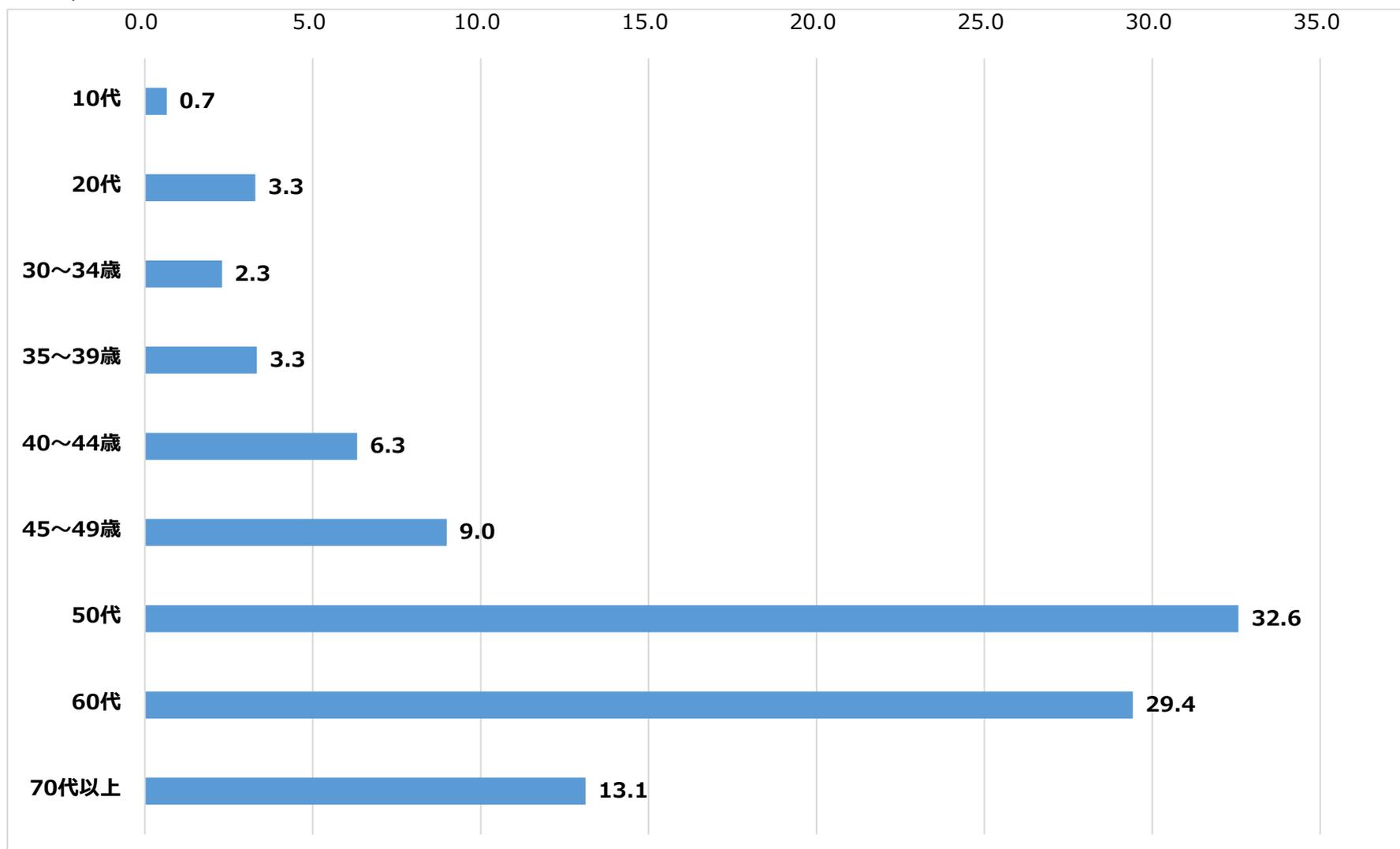
調査期間

2023年11月22日（水）～2023年12月25日（月）

■ 回答者プロフィール：年齢（1/4）

N=8,444

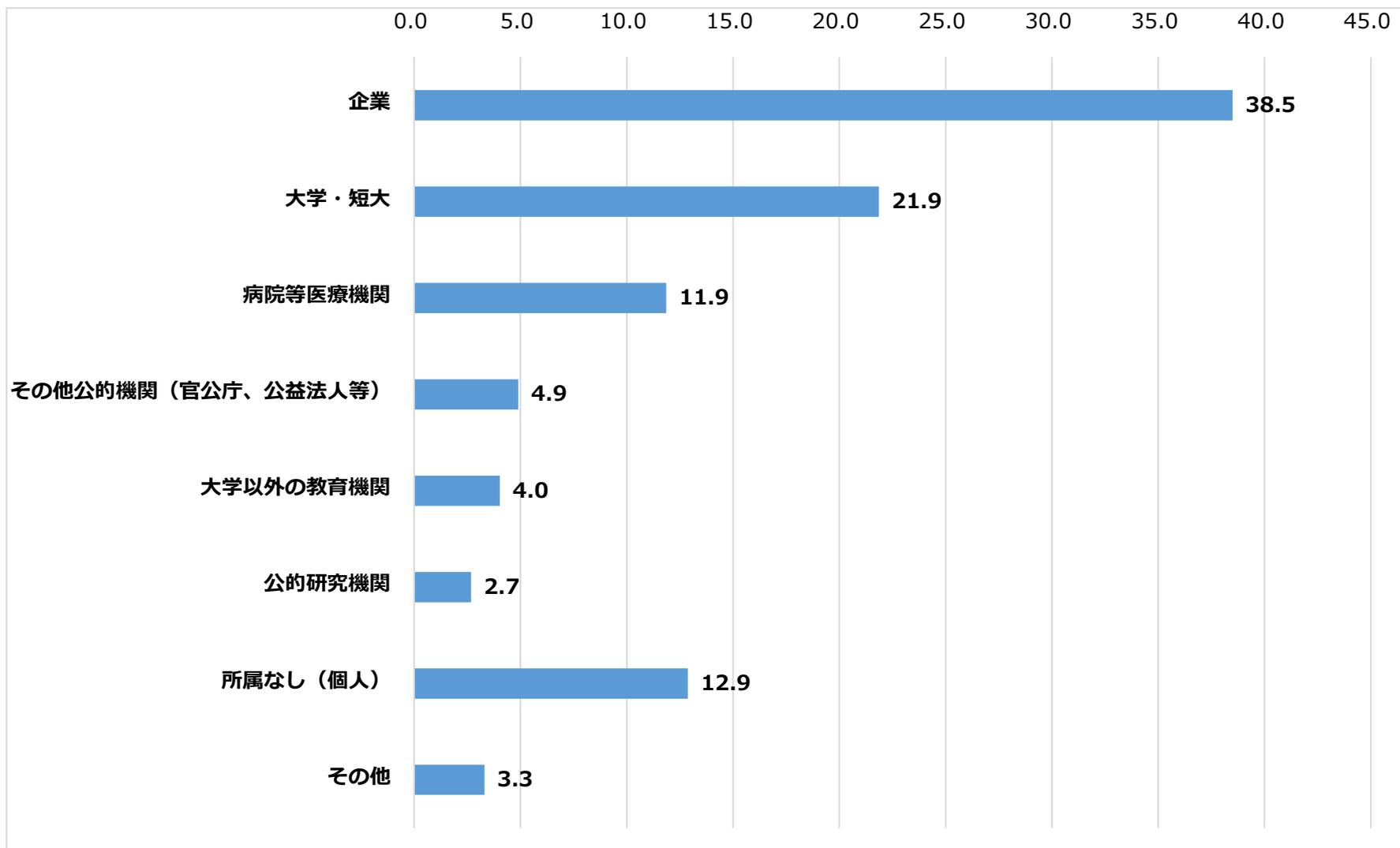
単位：%



■ 回答者プロフィール：所属（2/4）

N=8,444

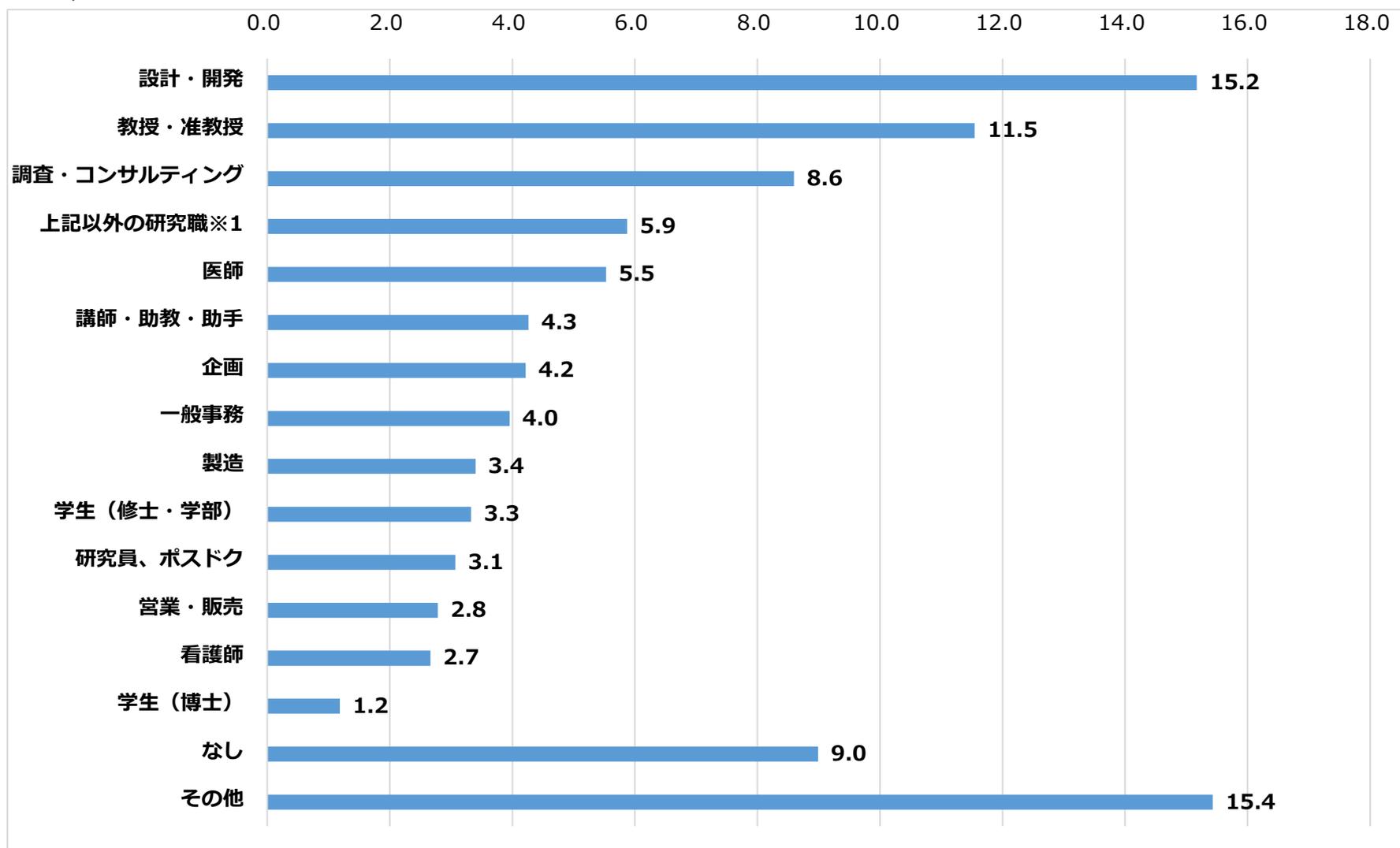
単位：%



■ 回答者プロフィール：職種（3/4）

N=8,444

単位：%

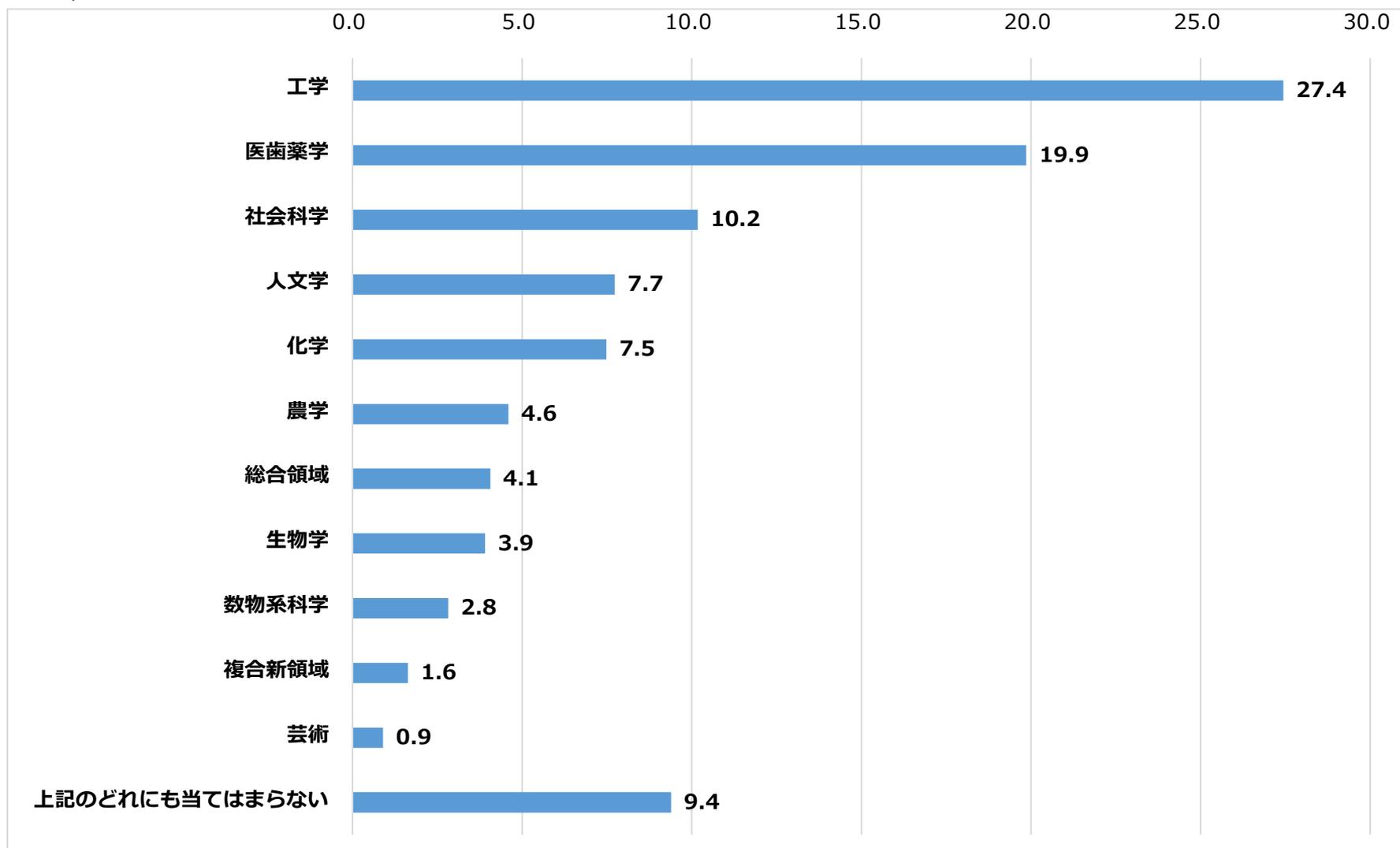


※1 上記以外の研究職：教授・准教授、講師・助教・助手、研究員、ポスドク以外の研究職

■ 回答者プロフィール：研究分野（4/4）

N=8,444

単位：%





調査結果 詳細

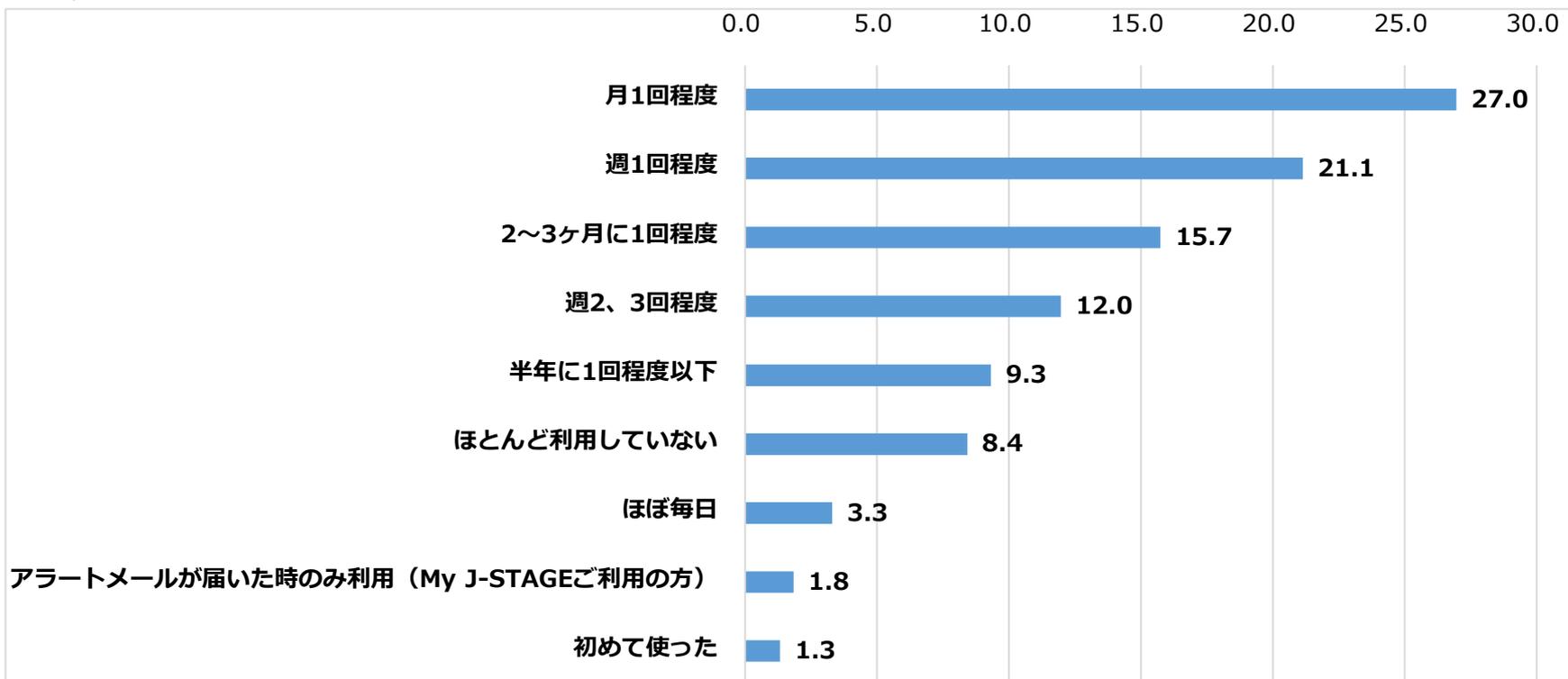
■ J-STAGE 利用頻度

Q1 J-STAGEの利用頻度を選んでください。【1つ選択】

● J-STAGEの利用頻度は、「月1回程度」が27.0%と最も高く、次いで「週1回程度」の21.1%、「2～3ヶ月に1回程度」の15.7%の順に続いている。

N=8,444

単位：%



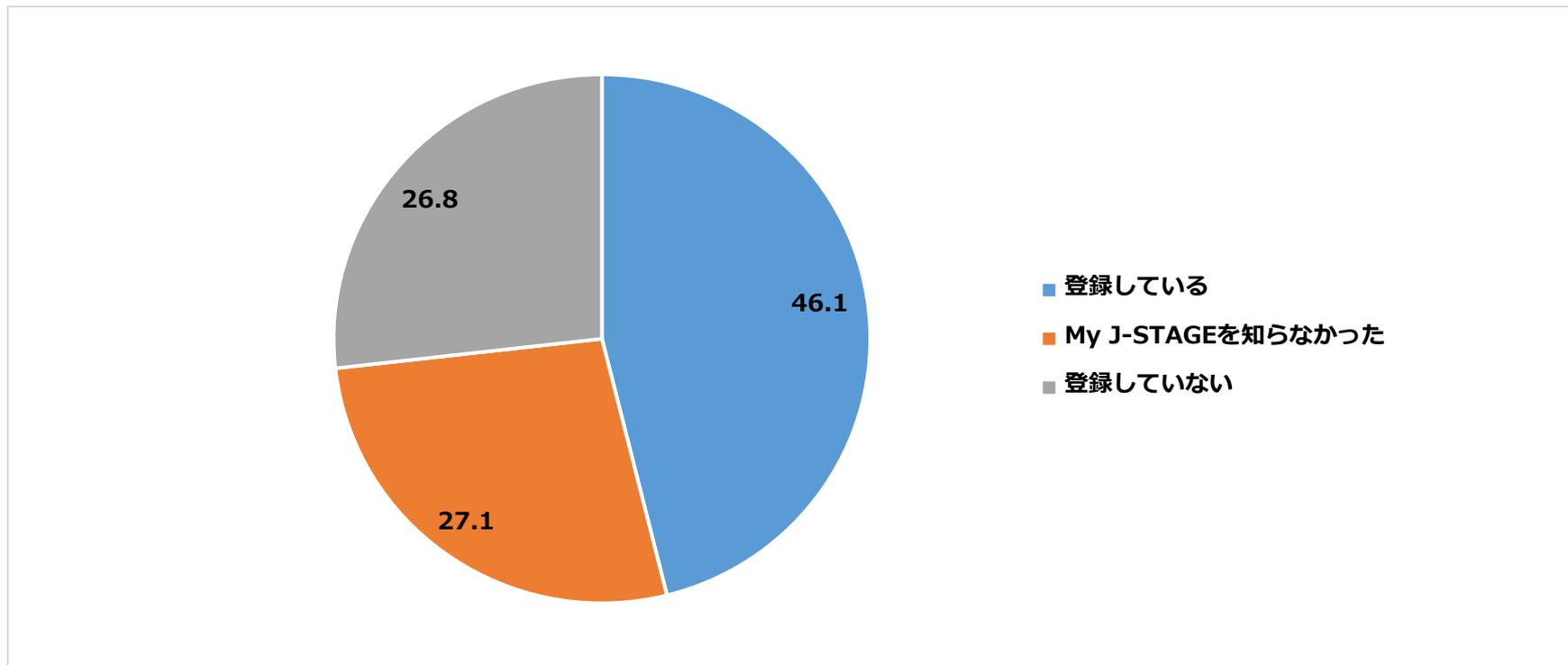
■ My J-STAGE 登録状況

Q2 My J-STAGEに登録していますか。【1つ選択】

● My J-STAGEへの登録状況は、「登録している」が46.1%と最も高く、次いで「My J-STAGEを知らなかった」の27.1%、「登録していない」の26.8%の順に続いている。

N=7,733

単位：%



* My J-STAGE : お気に入りの資料、記事、検索条件等を登録できるアカウントサービス。

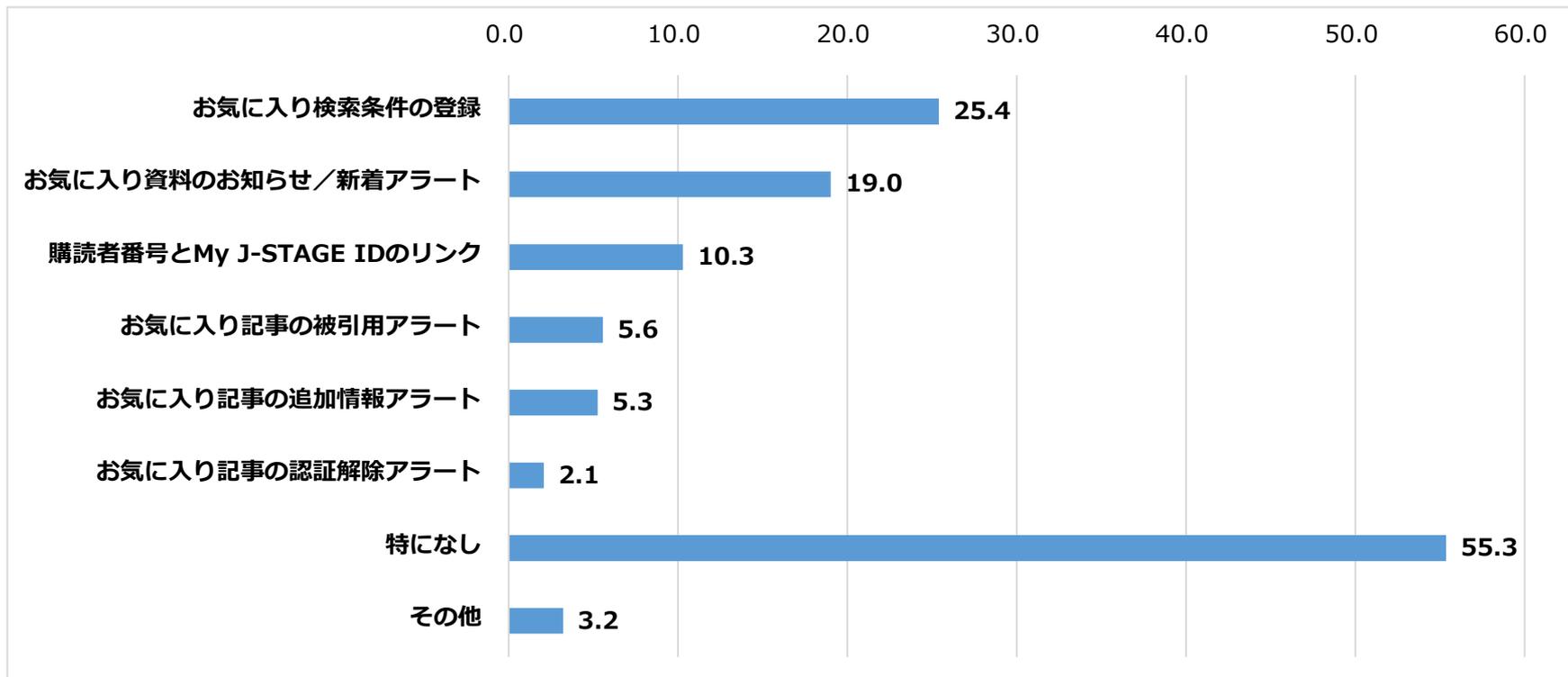
■ My J-STAGE よく使う機能、便利だと思う機能

Q3 My J-STAGEでよく使う機能、便利だと思う機能を選んでください。【複数選択可】

● My J-STAGEでよく使う機能、便利だと思う機能は、「お気に入り検索条件の登録」が25.4%と最も高く、次いで「お気に入り資料のお知らせ／新着アラート」の19.0%、「購読者番号とMy J-STAGE IDのリンク」の10.3%の順が続いている。「特になし」は55.3%であった。

N=7,733

単位：%



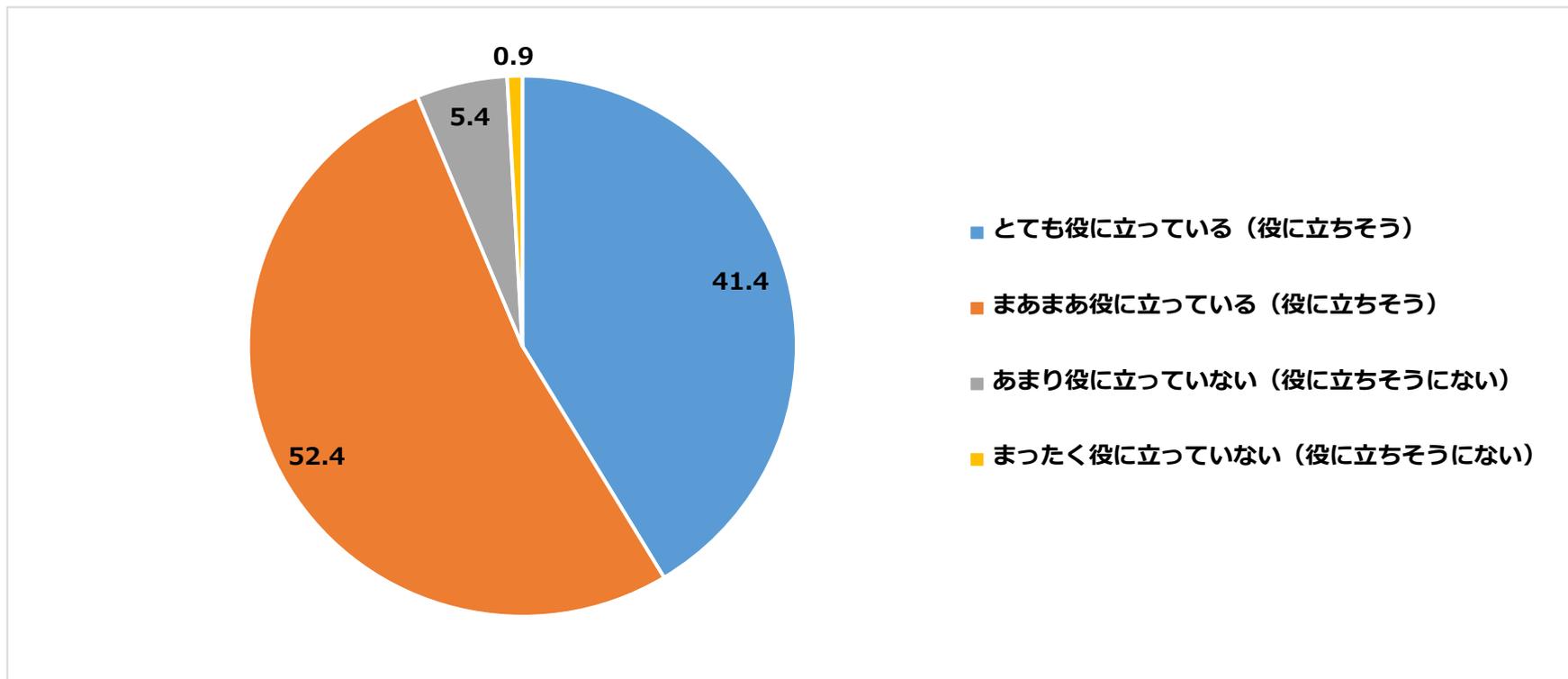
■ J-STAGE 役立ち度

Q4 J-STAGEは役に立っていますか。または、役に立ちそうですか。【1つ選択】

● J-STAGEの役立ち度は、「とても役に立っている（役に立ちそう）」が41.4%、「まあまあ役に立っている（役に立ちそう）」が52.4%。ポジティブな回答が93.8%を占め、大多数が満足した様子が見える。

N=7,733

単位：%



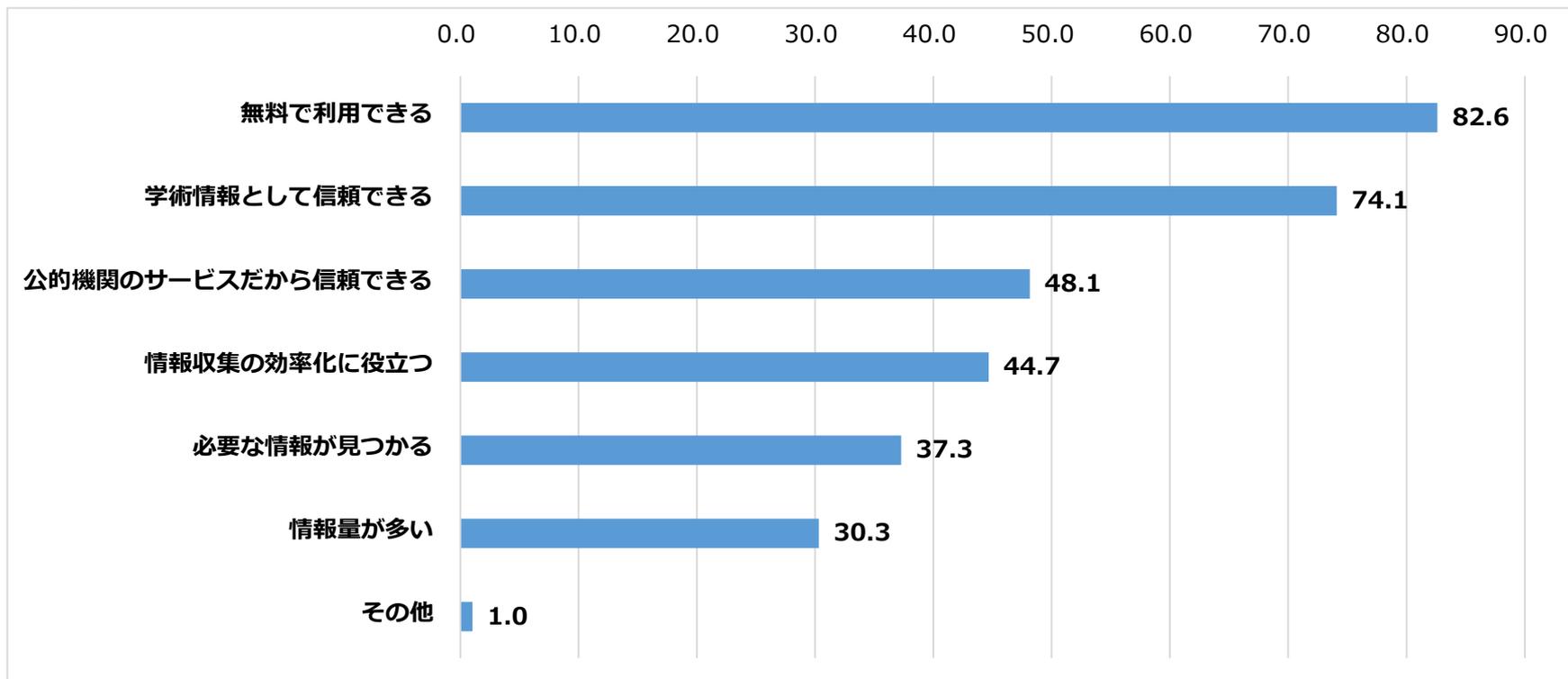
■ J-STAGE 役に立っている（立ちそうな）理由

Q4-1 役に立っている（立ちそうな）理由を選んでください。【複数選択可】

● J-STAGEが役に立っている（立ちそうな）理由は、「無料で利用できる」が82.6%と最も高く、次いで「学術情報として信頼できる」の74.1%、「公的機関のサービスだから信頼できる」の48.1%の順に続いている。

N=7,249

単位：%



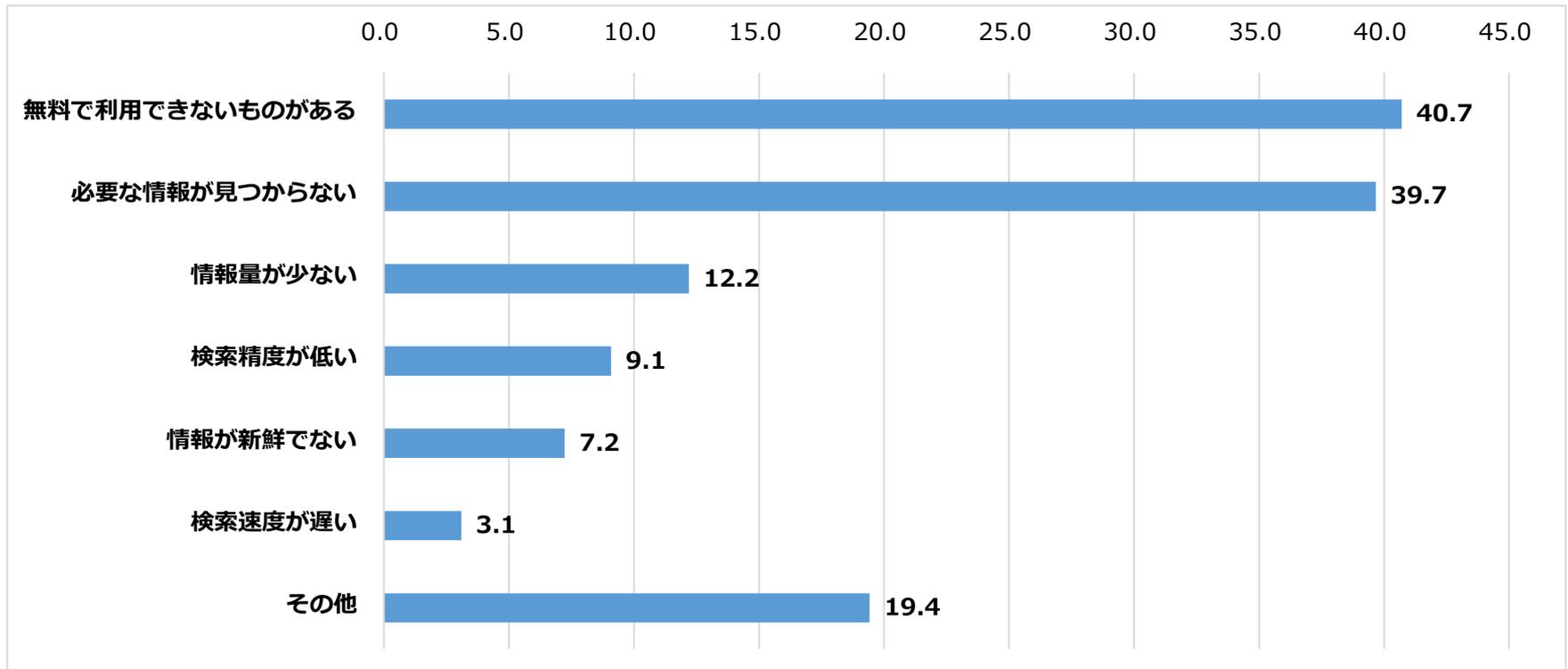
■ J-STAGE 役に立っていない（立ちそうにない）理由

Q4-2 役に立っていない（立ちそうにない）理由を選んでください。【複数選択可】

● J-STAGEが役に立っていない（立ちそうにない）理由は、「無料で利用できないものがある」が40.7%と最も高く、次いで「必要な情報が見つからない」の39.7%、「情報量が少ない」の12.2%の順に続いている。

N=484

単位：%



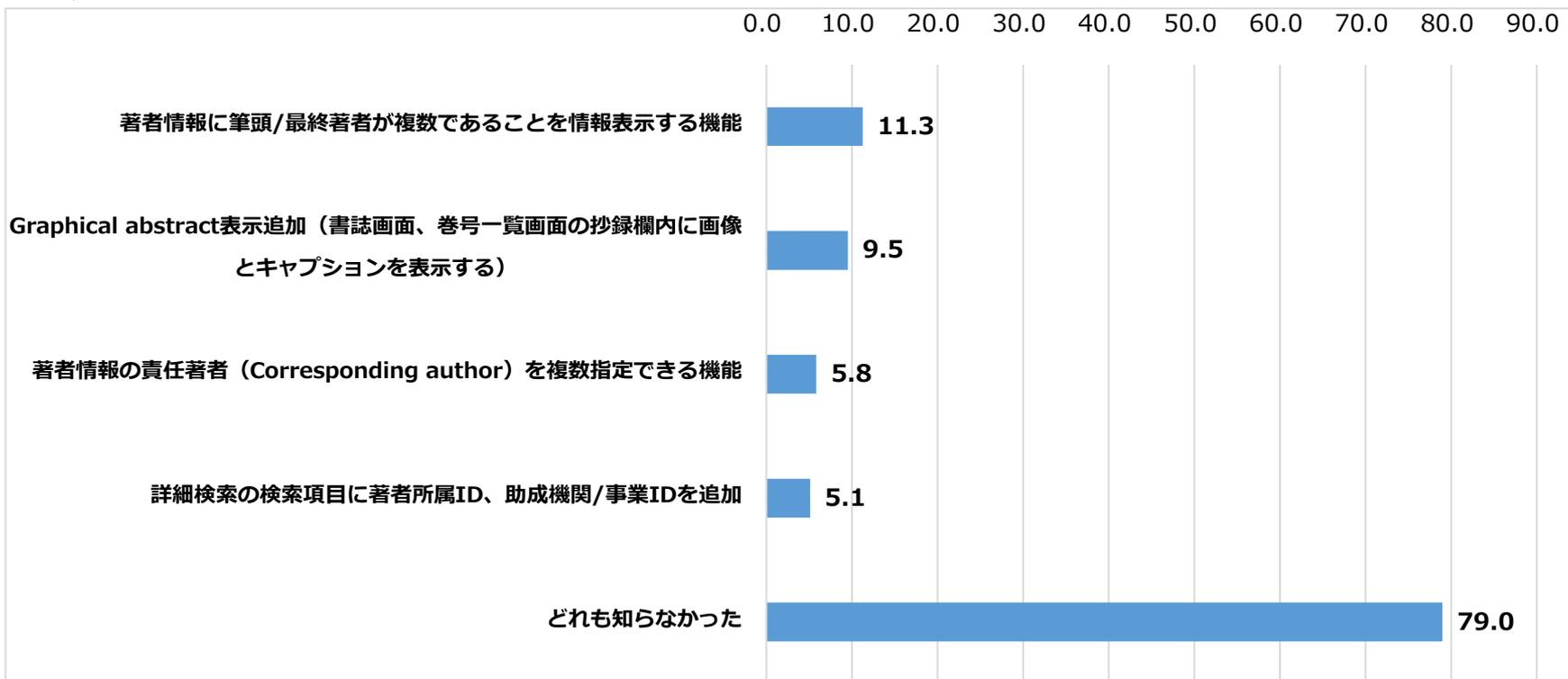
■直近1年間にアップデートを行ったJ-STAGEの機能や表示のうち、知っていたもの

Q5 直近1年間にアップデートを行ったJ-STAGEの機能や表示のうち、知っていたものを選んでください。【複数選択可】

●直近1年間にアップデートを行ったJ-STAGEの機能や表示のうち、知っていたものは、「著者情報に筆頭/最終著者が複数であることを情報表示する機能」が11.3%と最も高く、次いで「Graphical abstract表示追加（書誌画面、巻号一覧画面の抄録欄内に画像とキャプションを表示する）」の9.5%、「著者情報の責任著者（Corresponding author）を複数指定できる機能」の5.8%の順に続いている。「どれも知らなかった」は79.0%であった。

N=7,733

単位：%



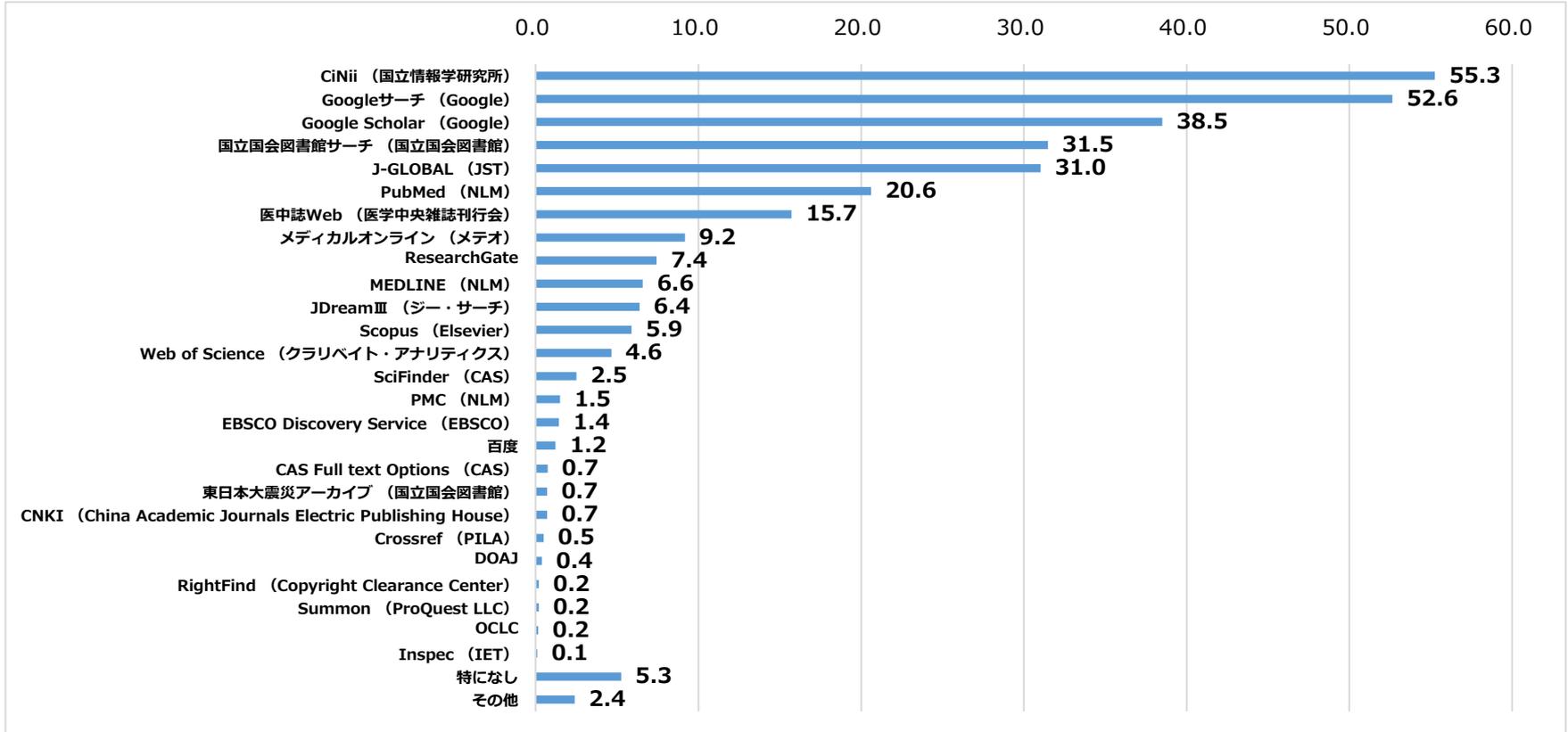
■ J-STAGE以外で普段、論文の検索・閲覧時に利用しているサービス

Q6 普段、論文の検索・閲覧時に利用しているサービスを選んでください。【複数選択可】

● J-STAGE以外で論文の検索・閲覧時に利用しているサービスは、「CiNii（国立情報学研究所）」が55.3%と最も高く、次いで「Googleサーチ（Google）」の52.6%、「Google Scholar（Google）」の38.5%の順に続いている。

N=7,733

単位：%



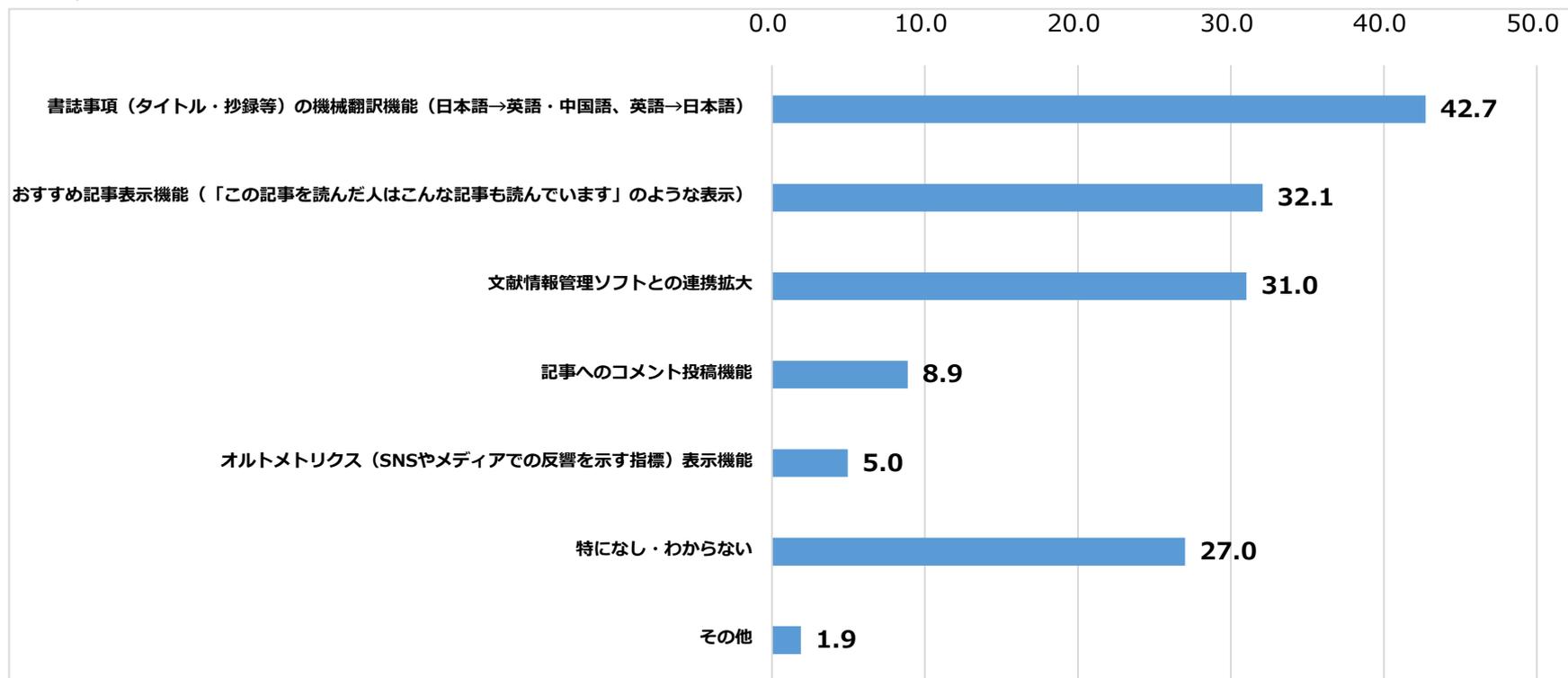
■ J-STAGEに備わっていたら役に立ちそうな機能

Q7 J-STAGEに備わっていたら役に立ちそうな機能を選んでください。【複数選択可】

● J-STAGEに備わっていたら役に立ちそうな機能は、「書誌事項（タイトル・抄録等）の機械翻訳機能（日本語→英語・中国語、英語→日本語）」が42.7%と最も高く、次いで「おすすめ記事表示機能（「この記事を読んだ人はこんな記事も読んでいます」のような表示）」の32.1%、「文献情報管理ソフトとの連携拡大」の31.0%の順に続いている。「特になし・わからない」は27.0%であった。

N=7,733

単位：%



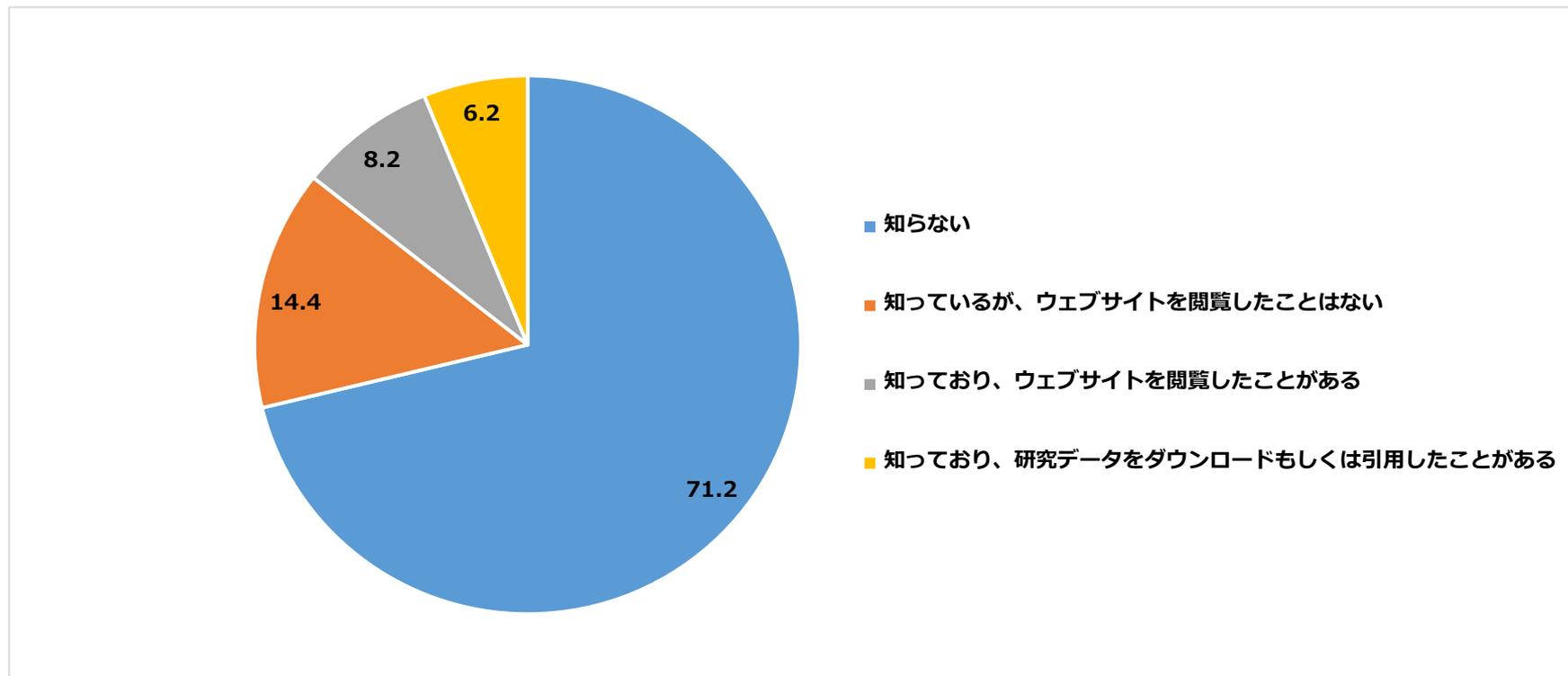
■ J-STAGE Dataを知っているか

Q8 J-STAGE Dataを知っていますか。【1つ選択】

● J-STAGE Dataを知っているかは、「知らない」が71.2%と最も高く、次いで「知っているが、ウェブサイトを開覧したことはない」の14.4%、「知っており、ウェブサイトを開覧したことがある」の8.2%の順に続いている。

N=7,733

単位：%



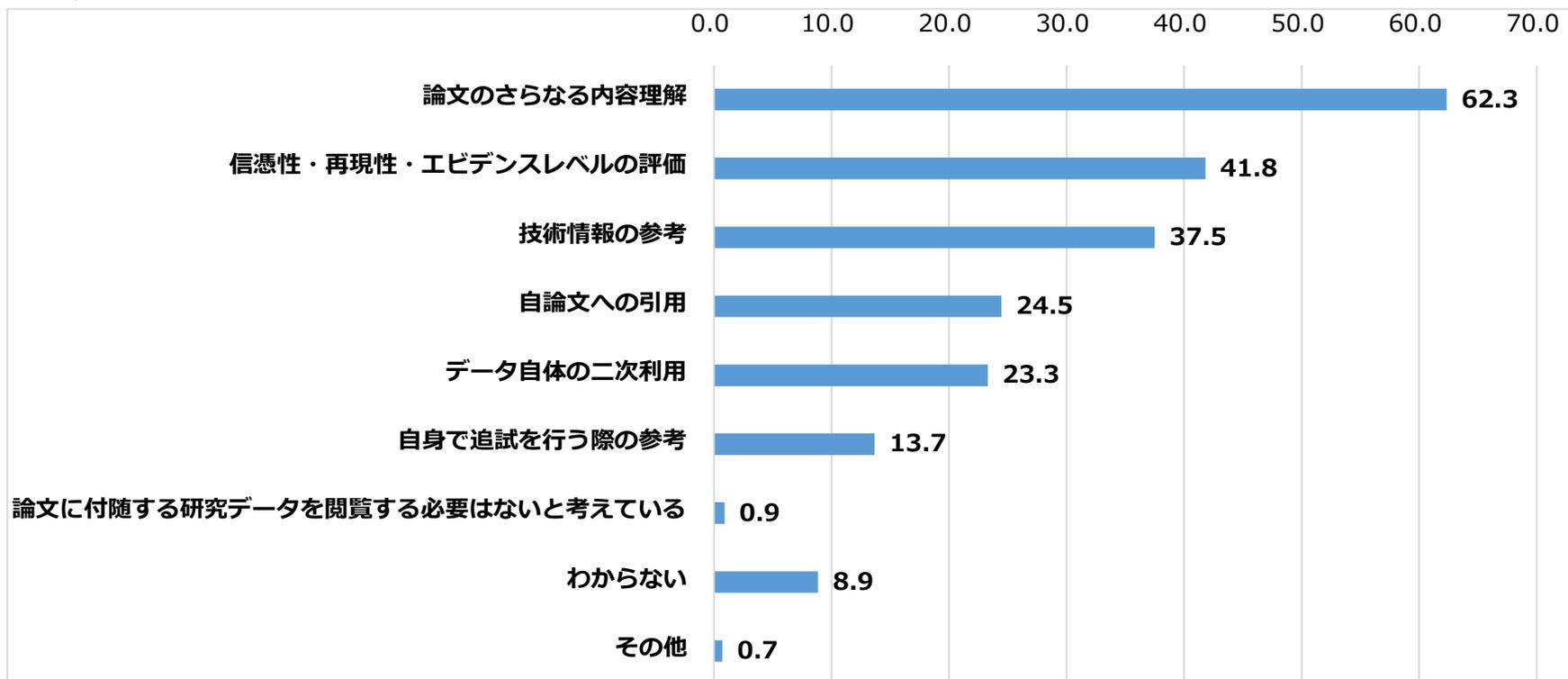
■ J-STAGE Dataをどのように利用できるか/使いたいのか

Q8-1 J-STAGE Dataをどのように利用できるか/使いたいか選んでください。【複数選択可】

● J-STAGE Dataをどのように利用できるか/使いたいかは、「論文のさらなる内容理解」が62.3%と最も高く、次いで「信憑性・再現性・エビデンスレベルの評価」の41.8%、「技術情報の参考」の37.5%の順に続いている。

N=2,224

単位：%



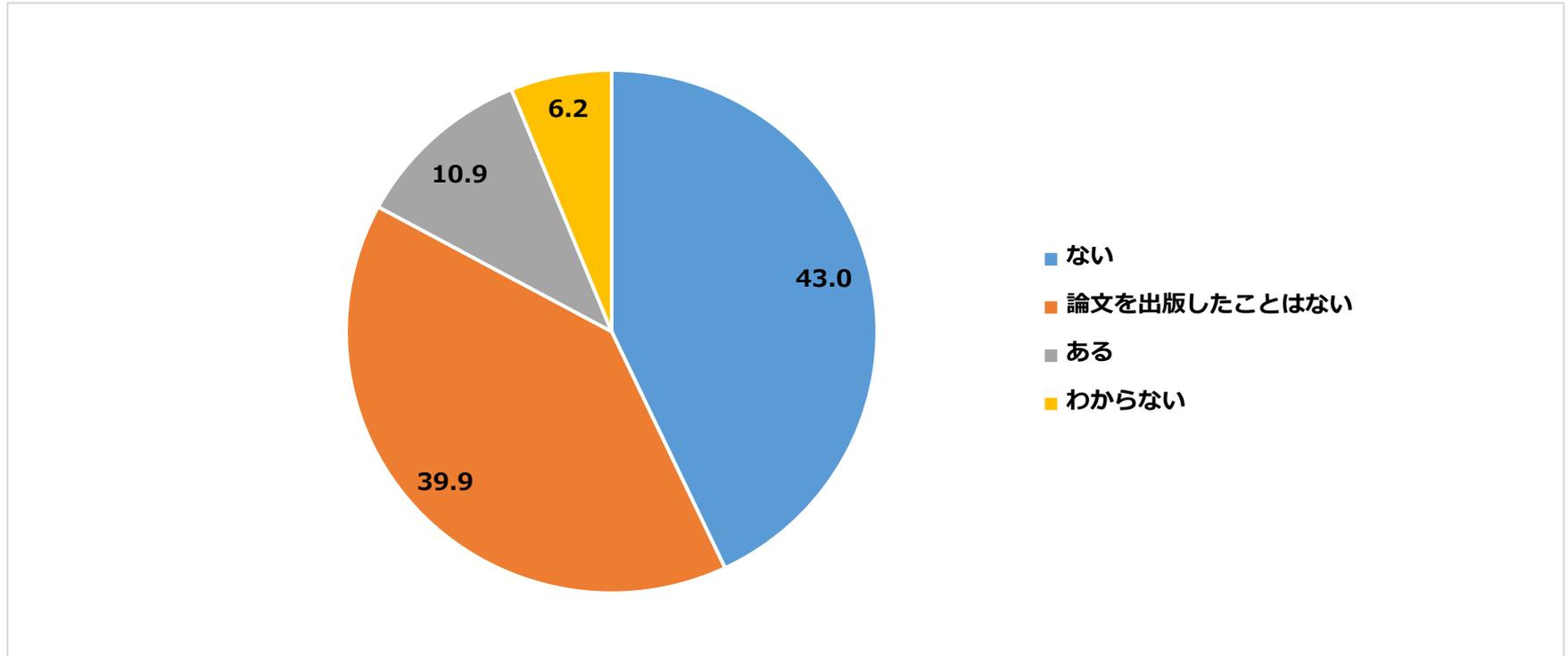
■ J-STAGE 論文を出版する際に論文根拠データの公開を求められたことはあるか

Q9 これまで、論文を出版する際に論文の根拠となるデータの公開を求められたことはありますか。【1つ選択】

● 論文出版の際、根拠データの公開を求められたことがあるかは、「ない」が43.0%と最も高く、次いで「論文を出版したことはない」の39.9%、「ある」の10.9%の順に続いている。

N=8,444

単位：%



■ 研究データをJ-STAGE Dataほか、オープンアクセスで公開したいと思うか

Q10 自分の産生した研究データをJ-STAGE Dataほか、オープンアクセスで公開したいと思いますか。【1つ選択】

● 研究データをオープンアクセスで公開したいと思うかは、「公開したいと思う」が31.5%と最も高く、次いで「公開したいと思わない」の15.7%の順が続いている。「わからない」は52.8%であった。

N=8,444

単位：%

